

# 国土交通省政策統括官付情報活用推進課 主催

## 令和5年度人流データを活用した不動産分野等の課題解決実証業務

### 成果報告会

行政における人流データの有用性は認識されつつありますが、活用が全国的に浸透しているとは言えず、地域課題の解決に至る知見はまだ多くありません。

そこで国土交通省では、人流データの流通及び行政における利活用の促進を図るため、本年度において、特に土地の有効活用や地域の価値向上などの不動産分野に着目し、人流データを活用したそれらに関する地域課題解決に取り組む実証事業を全国3地域で行っています。この度、その成果報告会を下記の要領で開催しますので、是非ともご参加ください。

**日時** 令和6年2月29日(木)

13:00~15:30

**開催形態** 現地(先着50人)

オンライン併催

(Microsoft teams)

**現地会場** あずさセンタービル 14階会議室

(東京都新宿区津久戸町1番2号)

**参加費** 無料(事前申込制)

**事前申込** 下記リンク・QRコードより

申込ください

<https://forms.office.co>

[m/e/TatFNC6biM](https://forms.office.com/e/TatFNC6biM)



#### 登壇自治体・発表テーマ

##### ■さいたま市「地域ニーズを捉えた商業地域形成」

地域の不動産関連事業者とも連携し、浦和美園駅周辺の人流から商業ニーズを分析し、人流データから読み取れる開発スポットの見積もりやシミュレーションを実施

##### ■東村山市「駅周辺再整備に合わせた公共施設・公共空間の最適化」

人流データにより公共施設の活用実態や利用者の属性を把握し、日常的に人々が訪れている施設を分析し、公共施設の適正配置及び再整備方針を検討

##### ■鳥取市「中心市街地活性化に向けた空き店舗・遊休不動産活用」

中心市街地において、区画ごとの人流や属性を把握し、エリアのあるべき機能や不動産活用のニーズを分析するなど、不動産活用に資する施策立案の基礎情報として人流データを活用

#### 登壇有識者

##### ○東京都市大学 建築都市デザイン学部都市工学科准教授 秋山 祐樹氏

国土交通省国土交通政策研究所研究官、東京大学空間情報科学研究センター助教などを経て、2020年より現職。産官学の幅広い領域において空間情報に関する研究成果の社会実装を推進

##### ○一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会代表理事 東海林 正賢氏

2021年にオルタナティブデータ推進協議会を設立し、代表理事に就任。オルタナティブデータを取り巻くエコシステム形成に向け、ユースケースの発掘やデータ取引の共通ガイドライン策定、人材育成のロードマップやスキル定義などに取り組む

時間	- 当日のプログラム -
13:00	開会
13:05	人流データを活用した不動産分野等の課題解決実証事業の概要について
13:20	実証地域の取り組みの成果報告(20分×3) ・さいたま市・東村山市・鳥取市
14:20	有識者からのコメント・データ活用の取組紹介 ・東京都市大学 建築都市デザイン学部都市工学科准教授 秋山 祐樹氏 ・一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会代表理事 東海林 正賢氏
15:00	土地不動産分野における人流データを活用した課題解決手法の整理について
15:15	国土交通省の人流事業等の紹介
15:30	閉会

問い合わせ 事務局(KPMG コンサルティング株式会社) : 石山、平田、田村 Hideaki.Ishiyama@jp.kpmg.com

事業担当(国土交通省 情報活用推進課) : 武林、竹本 03-5253-8111 hqt-mlit-pfvttool@gxb.mlit.go.jp